

# 電子カルテ改革から国民のための健康・医療情報基盤創成へ

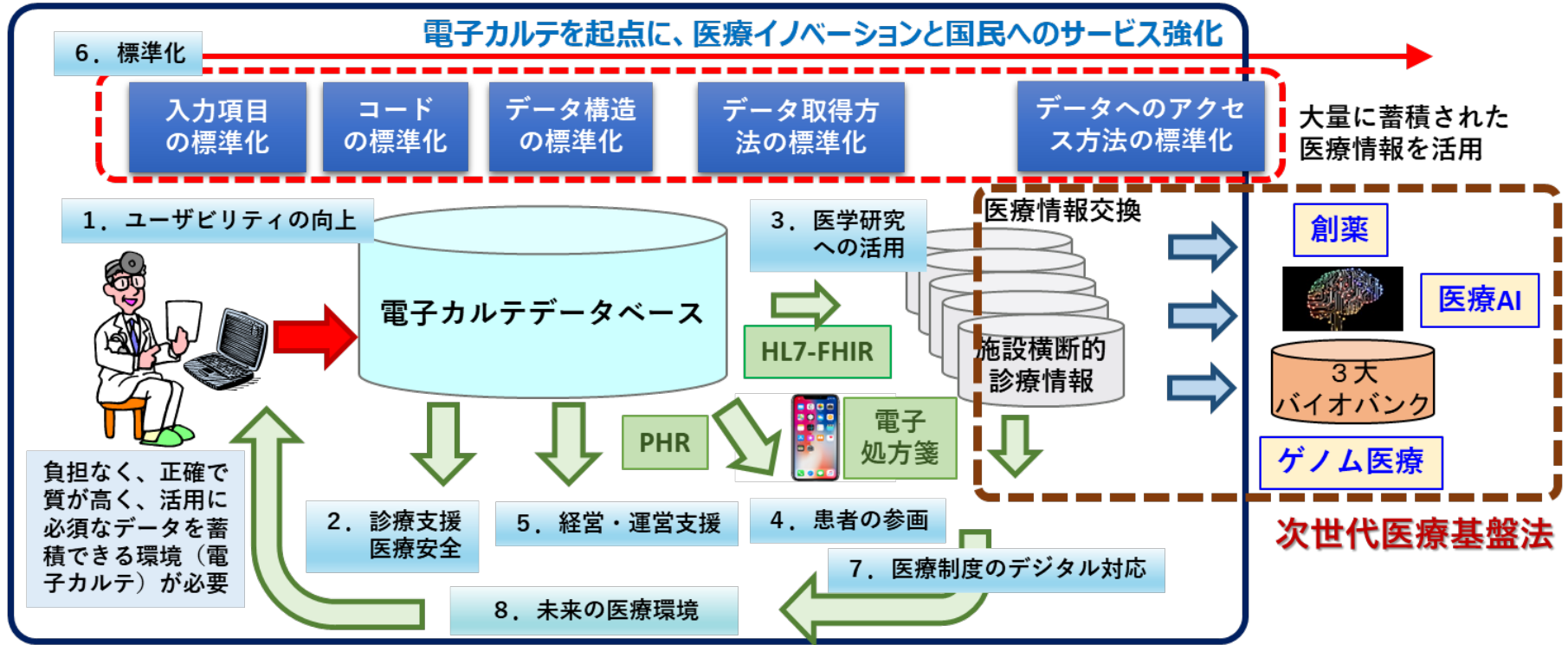
2022年3月29日

健康・医療戦略参与 笠貫 宏



# 電子カルテ改革から国民のための健康・医療情報基盤創成へ

医療現場の課題解決を通して、健康・医療情報基盤の課題解決へ



## 提言の骨子

- 質の高い診療情報の蓄積
  - 働き方改革
  - 電子カルテの普及促進

異業種の先進技術を電子カルテに
- 質の高い安全な診療
  - スムーズな診療

頼もしい相棒、有能な秘書としての電子カルテ
- 革新的医療の開発により国民に還元
  - 負担なく研究に参加
  - 国民が安心して診療情報を付託

日常診療の中で自然と研究データが溜まる
- 国民参加の医療の実現
  - 健康管理やセルフケアの推進
  - 安心できる医療情報の提供

個人単位での一元管理
- 診療業務の改善
  - 計画的な投資の実現
  - 安定した医療を国民に提供

医療機関の運営・経営の見える化
- どのメーカーでもデータの共通・統合利用ができる
  - 革新的な医療の創出

標準化は、医療発展のための基盤
- 変革スピードクラウド-AIオープンソース電子カルテ
  - 世界をリードする
  - 日本の新たな医療の在り方を創生
- ICTの進展と、社会・医療のデジタル変革 広がる仮想空間により、診療の場とスタイルも変化 国境をも越え日本の医療の世界への展開も

NCGM：美代賢吾先生作成スライドより（一部改）